

第60回 FM八女番組審議委員会 議事録

- 1 開催日 令和4年4月27日（水） 午後4時00分
- 2 開催場所 FM八女会議室（八女市役所黒木支所2階）
- 3 出席者 出席者総数 7名
委員総数 7名
出席委員 4名 青木歳男 野中秀展 元村乗子
野口紘平
レポート提出委員 2名 原田郁哉 酒井裕樹

放送事業者側出席者 3名 高木祥平 木下晴菜 中島直樹
- 4 議題 「東日本大震災から11年」
3月12日（土）13:00～15:00 放送分
- 5 議事の概要 放送事業者が事前にCDに収録し、資料とともに各委員へ届けていた。
上記の番組について、モニター後の感想を全委員に述べていただいた。
- 6 番組内容 東日本大震災関連の特別番組
- 7 審議内容
 - ・タイトルから震災関連の重たい番組の印象を持っていたが、大島で生活している方の現在を紹介するものが多く、タイトルの印象よりも非常に聴きやすい内容だった。
 - ・2時間という長時間番組ではあったが、20分弱のインタビューの合間に、ボランティアのメッセージを入れる構成は、終始インタビュー形式で聴くよりもメリハリがついていた為、聴き疲れがなく聴きやすかった。
 - ・ゲストの人間性を引き出すのが上手だと感じた。
 - ・星野村の小学生と大島の小学生がリモートで交流する企画は、子どもの視野を広げるのに良い企画だが、小学4年生では質問の答えに「読まされている感」があったので小学6年生か中学生くらいのほうが番組として中身が濃いものになったのではないかと感じた。
 - ・リモート企画は音質が悪かったが、企画の様子をわかりやすく補足説明していたのでカバーできていたと思う。そして、発表した生徒一人一人の名前を紹介していたところから

出演者を大切にしているなと感じた。

・タイトルと内容に少しずれを感じた。また、人間関係ができているがゆえ、他者に入りづらさがあるのではないかと思った。

・「生まれる」というテーマを途中から感じる事がなくなった。内容もボランティアに偏っていたと思う。初めて聞いた者としては「東日本大震災のことなのに、なぜ大島のことばかりだろう」と感じたので、大島や出演者の方との今までの関係などを簡単に紹介してもらえると親近感を持ち話が入ってきやすかったのではないかと感じた。

・全体を通じて、実際に大島でのボランティア経験があり、その後も関係を大切にしてきたパーソナリティの木下さんだからこそ制作できた番組だと思った。番組を聴いて「自分には何ができるのだろう」と考えたし、聴いた方がそのように考えるきっかけになったと思う。出演された方々のリクエスト曲や、木下晴菜さんによる「糸」は想いの強さを感じた。今回の番組のように、大切なことを忘れないよう伝えていき、つなげていくことは大事なことだと思うので毎年続けていただきたい。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

9 次回の番組審議委員会

日時 令和4年6月22日（水） 午後4時00分

場所 FM 八女 会議室

社名	一般財団法人 FM八女
----	-------------